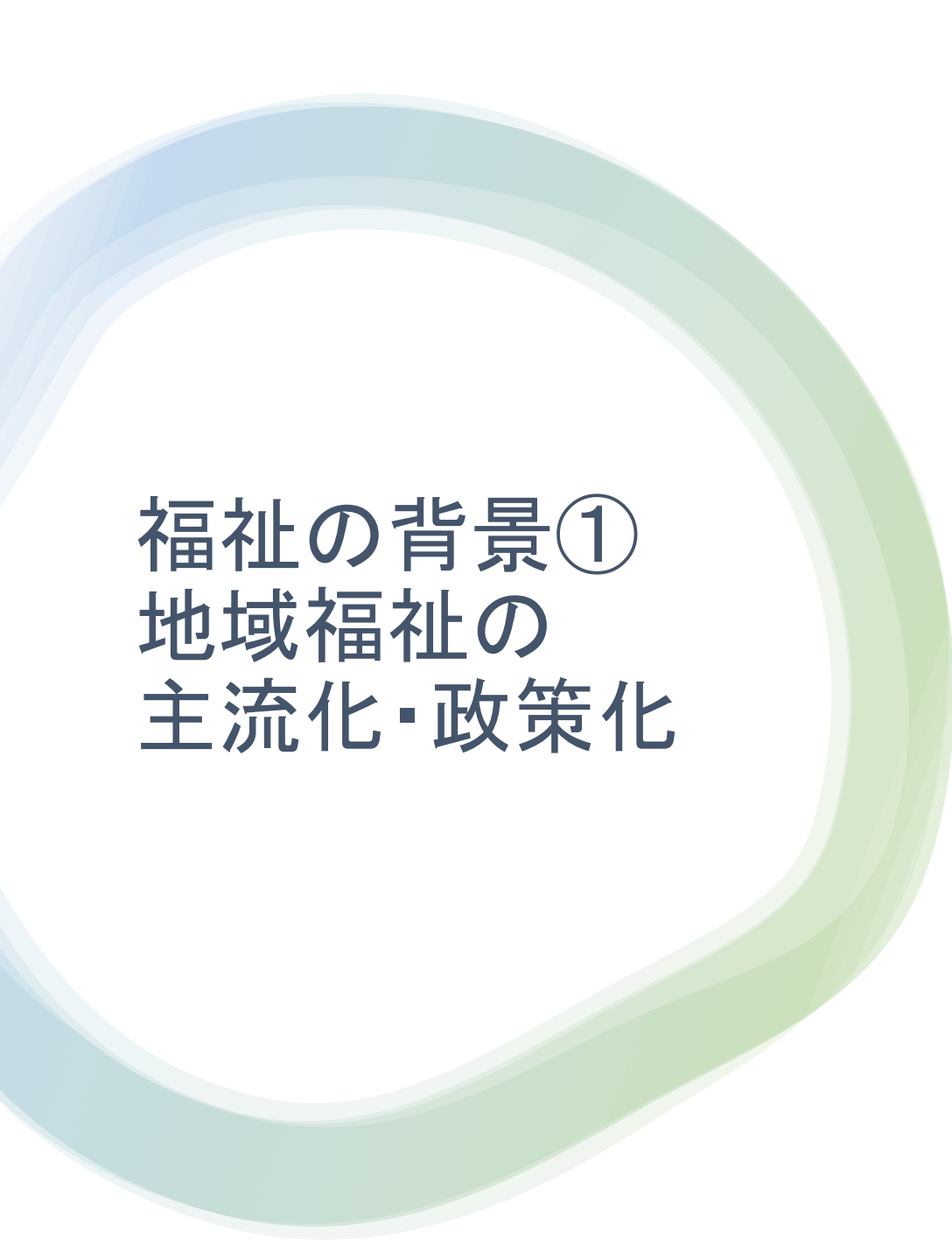




新たな福祉をつくる ～校区交流会議と増進型地域福祉～

桃山学院大学 小野達也



福祉の背景① 地域福祉の 主流化・政策化

地域福祉の主流化 2000年～

地域福祉の政策化 2015年～

地域共生社会

①断らない相談支援

②参加支援

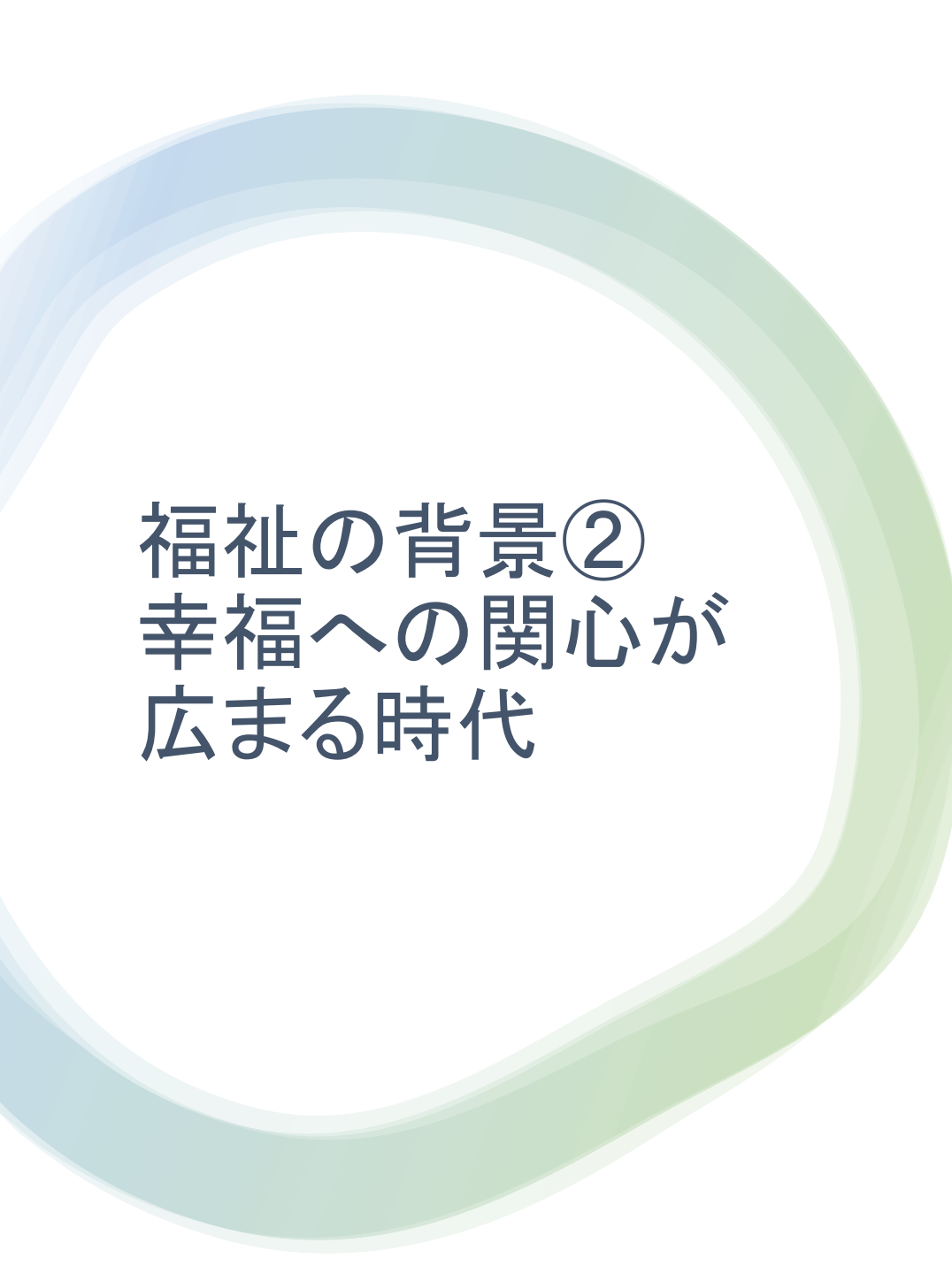
③地域づくりに向けた支援

重層的支援体制整備事業

公的な福祉の連携

地域活動との連携

* 広範な人たちが関わり合う福祉



福祉の背景② 幸福への関心が 広まる時代

世界的な動向

国連→世界幸福度ランキング

OECD→『OECD幸福度白書』

各国の動向

ウェルビーイングバジェット

ウェルビーイングエコノミー

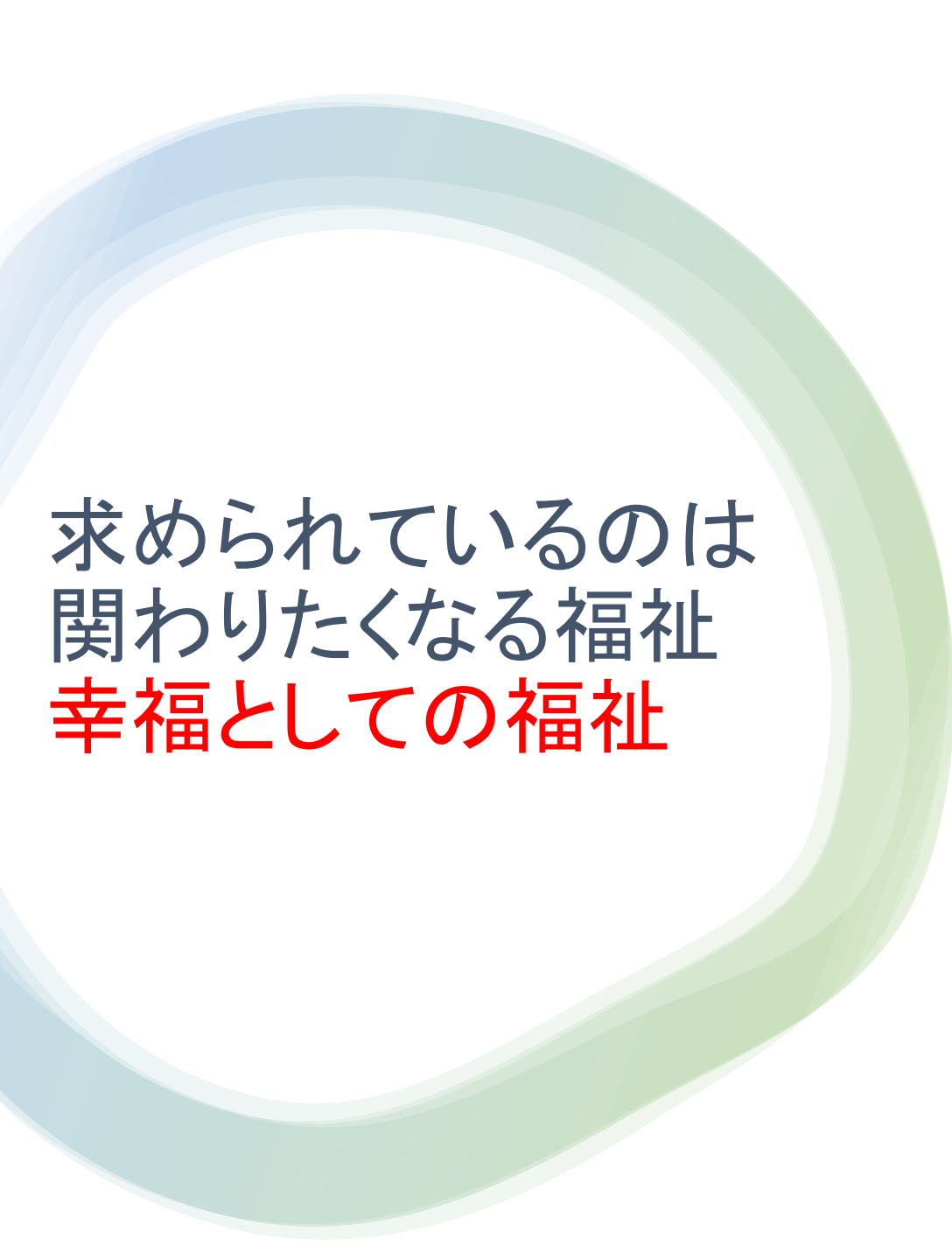
幸福に関する各種指標の発表

地方自治体や企業の関心

幸福研究の拡大

ウェルビーイング学会

* 福祉はどうする？



求められているのは
関わりたくなる福祉
幸福としての福祉

福祉観の転換へ

福祉の意味（語義）

幸福（ウェルビーイング）

憲法第25条＝健康で文化的な
最低限度の生活 から

憲法第13条＝幸福追求権 へ

幸福としての福祉をつくる

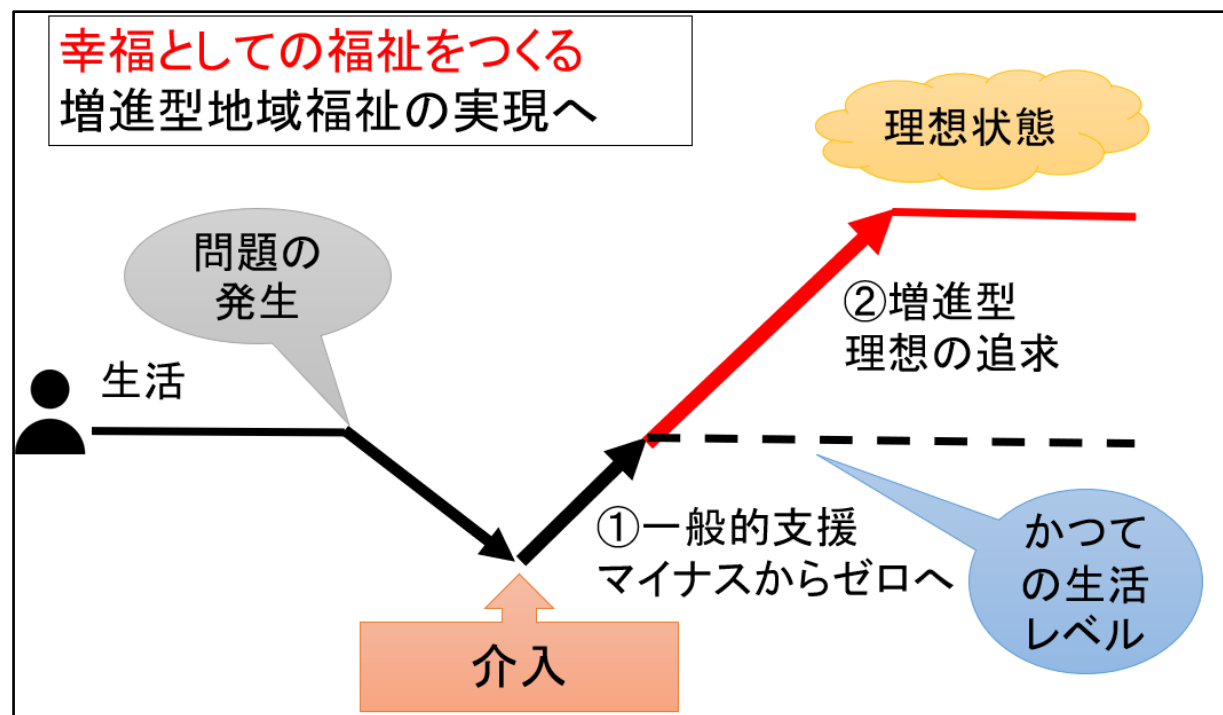
校区交流会議は幸福をつくる

幸福としての福祉 を目指す 増進型地域福祉

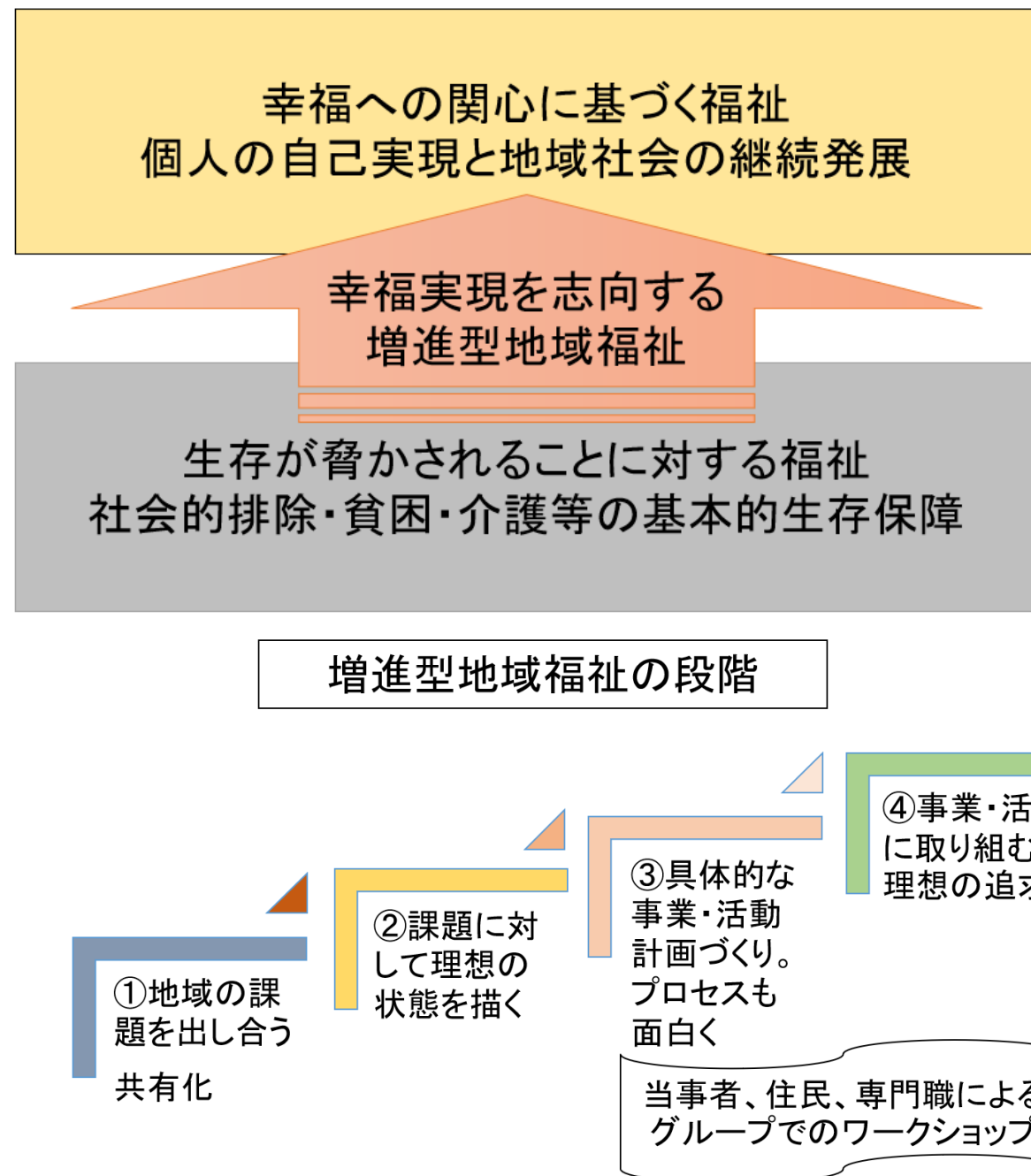
増進型地域福祉は「一人ひとりの幸せと地域の幸せをともに生み出す地域福祉」

マイナスをゼロにする福祉ではない

- ①幸福の実現を目指す
- ②みんなの話し合いで進める



福祉の二極化を 超えて 地域での幸せの 実現へ





校区交流会議で

福祉を増進型へ

地域福祉から幸福を生み出す

＊『増進型地域福祉への展開』同時代社、2022年
小野達也・朝倉美江編著

